

浜商陸上部後援会誌

若松我等

題字は

初代監督 故・松島正吉先生

H.8.5 Vol.8-2

第15号

巨星墮つ



県陸上界に衝撃走る!!

在りし日の松島正吉先生

松島正吉先生を偲んで…。



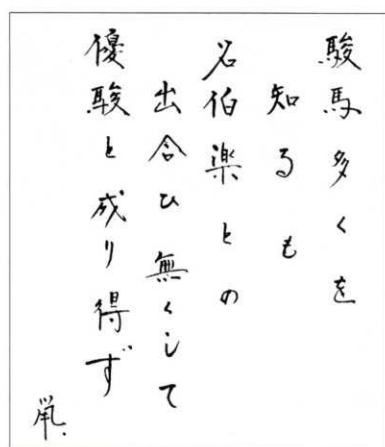
第3回卒
川島 忠

浜商陸上部後援会役員の方より、故松島正吉先生(初代監督)追悼の言葉をとのお話を戴き、誠に僭越雑文にて失礼とは存じますが、創部当時の微かな記憶を基に筆を執らせて戴きました。

冒頭に、一月二十四日、恩師御葬儀に際しましては学校関係の諸先生方、陸上部後援会の皆様には、御繁忙の處、大変御世話に相成り、又、御霊前には御丁重なる御厚志を賜り、誠に有難く衷心より厚く御礼を申し上げます。

「歳寒くして松柏の凋むに後るゝを知る」と在るが、第二次大戦、敗戦後の世情穏やかならぬ時代、戦災にて焼失せし校舎跡地「我心が丘」に我校舎一棟が完成せし昭和二十四年五月、松島正吉先生(三十四才)が体育教諭として迎えられ、各種運動部の総合復活と陸上競技部の創設に全力を傾けられ、荒廃した草原の如き校庭の整備、大改修に監督、部員が連日作業に没頭し、同年八月、用具も整わぬまゝ、二十数名の部員と基礎的な練習が開始された。

当時、監督の意を察するに、第一に競技部員の増大を計り底辺を広める事により頂点を高め、同志を殖し、有形、無形の力を期し、部風の確立を急務と拝察し、学校教育の一環として存在する。スポーツマンシップの涵養、生活態度の形成、部員個々の性格把握等、然し練習が強化され継続化されて来ると部員の中からは人間の弱味が現われて来る。意志の弱さ、肉体の弱さ、之に打勝つ強さこそ何事にも替え難い尊いものであった。又、学生スポーツの権威と伝統を誇る為には、



筆者が松島先生喜寿の祝いに贈った言葉

学業の一層の向上に意を注がれ部員にも常々注意され、基礎形成時代に於ける、松島監督の同甘共苦の心情と苦心は筆舌に尽くし難いもので在ったと思う。昭和二十八年第六回全国高校陸上競技大会に創部五年にして宿願の総合初優勝の栄冠を勝ち得、全国高校陸上史の最高峰に立つ事が出来、松島監督の好指導のもと、開校以来の壮挙を流汁淋漓炎暑に朔風荒う吹雪の中での苦しいトレーニングを後輩達の頑張りにより成し得た感激は、今も鮮烈に甦り、春風の中に座するが如き成り、嗚呼、ついに吾等は勝てり然し勝ったが故に尊いのでは無い、努力して勝ったが故に尊いのだ。努力こそ吾等の生命であり、力である。

省りみれば、栄光と伝統とは先輩から後輩へと休む事の無い流水の如く、岡村監督、山下監督、杉井監督へと受継がれ、情熱を傾けた御指導を戴き、現在迄通算全国大会総合優勝四回の美酒と名誉を得た事に感謝し、同時に全国高校陸上史に我心が丘の雄として將門に將在りを証したのである。

結びに恩師松島正吉先生御健在の折度々聞かされた、自分の教職生活の中で浜商陸上部監督時代が一番働き涯いのあった愉快な八年間と回顧され、生涯陸上競技に情熱を傾けられたのである。



陸上部後援会
会長 **鈴木 章介**
(7回卒)

皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は後援会活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我浜商陸上部は杉井監督を迎え、はや5年目になります。学校改装の為、グラウンドをほとんど使用できない環境ながら、3年連続の全国高校駅伝大会出場、そして鳥取インターハイでは、4度目の総合優勝を果たすなど、輝かしい活躍をしております。これも監督・選手の頑張りと言うまでもありませんが、後援会皆様のご声援があればこそと感謝いたしております。

また、今年1月に最後まで浜商陸上部の活躍を楽しむに、慈愛に満ちた瞳で見守って下さった、初代監督 松島正吉先生が急逝されました。在りし日のお姿を偲び心からご冥福をお祈りするとともに、先生の教えを今一度噛み締め、心新たに邁進する所存であります。

まだまだ厳しき時世ではありますが、変わらぬご指導・ご協力をお願い申し上げますとともに、会員皆様のご健勝・ご活躍をお祈りいたします。



陸上部監督
杉井 将彦
(34回卒)

すがすがしい新緑の候、先輩の皆様方には如何お過ごしでしょうか。

日頃は、浜商陸上競技部に多大なるご指導、ご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

本年はキャプテン泉澤を中心にたいへんにまとまりのあるチームになりました。とくに100m・200mの末吉・田中宏・松山晋・神田謙は昨年全国大会を経験しており4×100mRで40秒台が狙える位置にあります。また4×400mRでも藤井・大石智・寺田和が、全国大会の経験を生かし昨年以上の成績を目指します。鳥取インターハイで活躍した400mHの泉澤、走幅跳で8位に入賞した中道には、昨年以上の活躍が期待されます。

長距離は、藤本・河合恵の2人を柱に、全国高校駅伝経験者7人を中心とし、全国高校駅伝での入賞を目標にチーム全体で頑張っています。

新入生にも、岸端(走幅跳)・鈴木将(棒高跳)の全国大会優勝者が入部し心強い限りです。

本年も浜商陸上競技部として恥ずかしくない結果を残すことができるよう、部員一同一丸と成って頑張っておりますので、宜しくご支援ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

平成8年度 新入生紹介

本年度入学の期待のニューフェイスです。

岸端 大輔 (吉田中)	走幅跳	全日本中学	1位
鈴木 将宏 (浜松西部中)	棒高跳	全日本中学	1位
加藤 隆之 (浜松西部中)	棒高跳	全日本中学	16位
内藤 昌 (浜松東陽中)	棒高跳	全日本中学	7位
鈴木 良樹 (細江中)	100m	県大会	3位

長谷 英孝 (三方原中)	3000m	県大会	4位
下村 文彦 (高台中)	3000m	県大会	5位
鈴木 忍 (光明中)	3種B	県大会	5位
松尾 広康 (北星中)	走高跳	県大会	3位

平成7年度会計報告

自 平成7年4月1日
至 平成8年8月31日

1.収入の部

(1)前期繰越金	988,810
(2)年会費(153名)寄付	949,000
(3)駅伝賛助金	5,148,648
(4)バス代他戻入	146,000
(5)総会他戻入	403,640
(6)受取利息	3,149
	7,639,247

2.支出の部

(1)助成金	3,974,566
(2)後援会総会費用	275,400
(3)東海大会費用	158,788
(4)インターハイ壮行会	226,909
(5)インターハイ優勝費用	117,886
(6)県駅伝大会費用	185,574
(7)全国駅伝大会壮行会	57,623
(8)全国駅伝大会応援費	914,838
(9)全国駅伝大会印刷・郵送費	113,418
(10)全国駅伝大会雑費	33,512
(11)全国駅伝大会記念品代	257,603
(12)会議・会合費	131,120
(13)若松我等会報費	49,028
(14)印刷・郵送費	61,320
(15)雑費	65,186
(16)祝・弔慰金	58,845
	6,681,616

3.次期繰越金 957,631

年会費納入のお願い

皆様の暖かいご支援のもとに、後輩達が伝統を守り、かつ輝かしい活躍を続けています。
本年度もお手数ではありますが、下記の要領にて振込をよろしくお願い致します。

振込先	静岡銀行天竜支店	普通預金	156322
	浜松信用金庫本町支店	普通預金	445118
	郵便局		12320-21490361
	口座名義	浜商陸上部後援会(ハマショウリク)	
	年会費		5,000円

※振込の際、卒業回数をご記入ください。

昭和33年卒……10回卒
昭和43年卒……20回卒
昭和53年卒……30回卒
昭和63年卒……40回卒

振込期日
6月末まで

平成7年度 年会費納入者一覧

ご協力ありがとうございました

3 回卒 川島	2 7 回卒 袴田亮
4 回卒 鈴木賢、山岡、宮崎	2 9 回卒 高木、沖、豊田
5 回卒 大畑、岡村	3 0 回卒 鈴木睦
6 回卒 松本邦、栗原、鈴木良、大鷹、沢木、松田、加藤	3 2 回卒 山内、大図、小池
7 回卒 鈴木章、太田ト、鈴木修、井熊、寺田、石津、 中村淳	3 5 回卒 駒子、大石
8 回卒 森田、相曾、尾上、中村正	3 6 回卒 中村大
9 回卒 松川、山下昌、吉川、小松、田中、松浦、伊藤、 守屋、杉田	3 7 回卒 小杉、津田
1 0 回卒 宮脇	3 8 回卒 西宮
1 1 回卒 加藤、大前、岡村、内山俊、伊奈、松島	3 9 回卒 坪井
1 2 回卒 藤城、鈴木猛、神谷、峰野	4 0 回卒 佐原ヒ
1 3 回卒 山本晃	4 1 回卒 小池、袴田浩、富田、鈴木健、太田ヨ、岡部
1 4 回卒 金子、内山、川瀬、太田	4 2 回卒 杉村、伊藤健、加藤、小林マ、大山、水野、池野谷
1 5 回卒 杉山、若林、伊藤	4 3 回卒 袴田貴、中西、岸本、島田
1 6 回卒 森、宮沢、小野、天野	4 4 回卒 小野、杉山、伊藤ヨ、小栗
1 7 回卒 岩井、高部	4 5 回卒 大場、宮崎、植松、中野、三浦、橋本、服部光、 青山、金子
1 8 回卒 山本ヒ	4 6 回卒 横井、袴田泉、大石奈、長谷、清水、石川、飯 尾、川村
1 9 回卒 野寄、鈴木保、刑部	4 7 回卒 藤田イツミ、今田チ、河合恵、伊藤チ、藤田 健、松阪、柴田、久米、内藤、山下、山本佳、高 木、岡田、伊藤公、内山、河合竜、木下、菅谷、 平野、吉野、森下、山本佳、那須田、松浦、田 村、高木
2 1 回卒 河村、斎藤	
2 2 回卒 平野	
2 3 回卒 大伊、横山	
2 5 回卒 今田、鈴木誠二、中塩、小原	

平成7年度 卒業生進路先

—— 活躍を期待します! ——

大石悟史（短距離）中央大

古田哲弘（長距離）山梨学院大

石田 佳（跳 躍）東京経済大

金田真哉（短距離）京都産業大

加藤桂一（長距離）竜谷大

北 大輔（棒高跳）日大

村松寛久（中距離）山梨学院大

両角維人（400mH）福岡大

佐野敏浩（投 擲）日大

目指せ!山梨インターハイ

県西部大会結果('96.5/4・5:四ツ池公園グラウンド)

〈県大会出場者〉

男子

100m	1位 松山晋也 3年	11"27	400mH	8位 泉澤賢典 3年	
	2位 田中宏樹 3年	11"30	3000msc	1位 河合恵太 3年	9'31"15
	3位 末吉隼人 3年	11"31		4位 鈴木憲司 3年	9'37"99
200m	2位 松山晋也 3年	22"48	4×100mR	1位 松山、末吉、田中、細田	42"20
	6位 大石智也 3年	22"81	4×400mR	1位 田中、大石智、藤井、寺田和	3'18"91
	7位 田中宏樹 3年	22"84	走高跳	6位 坂下元一 2年	1m85
400m	2位 寺田和裕 3年	48"67		1位 磯田進也 3年	1m80
	3位 大石智也 3年	49"06	棒高跳	1位 坂野文彦 3年	4m70
	10位 藤井勉 3年	50"61		2位 鈴木将宏 1年	4m60
800m	1位 新谷拓也 3年	2'00"10		5位 藤巻章秀 3年	4m50
	8位 小宮山真行 3年		走幅跳	1位 中道正博 3年	7m27
1500m	3位 川手秀祐 2年	4'05"83		6位 岸端大輔 1年	6m61
	10位 落合節夫 3年	4'08"68		8位 鈴木忍 1年	6m55
5000m	1位 藤本和也 3年	15'10"32	砲丸投	3位 高橋寿和 2年	14m06
	3位 河合恵太 3年	15'15"24	円盤投	5位 高橋寿和 2年	39m60
	6位 金原良征 2年	15'26"07		8位 亀山孝一 3年	36m88
110mH	1位 吉田晃規 3年	15"16	ハンマー投	4位 神田晃由 3年	44m60
	4位 寺田暢彦 2年	15"98		5位 高橋寿和 2年	43m64
	5位 斎藤純夫 2年	16"00		6位 亀山孝一 3年	42m28

女子

100m	2位 横田久美 2年	12"55	4×100mR	4位 松浦、溝口、吉成、横田	50"06
	8位 松浦悠紀 3年	12"81	走高跳	1位 藤下明子 3年	1m60
	9位 吉成桂子 2年	12"93		2位 鈴木麻友美 3年	1m55
200m	4位 横田久美 2年	25"78	砲丸投	3位 山口智美 2年	10m79
3000m	7位 松原垂矢 2年	10'37"37	円盤投	1位 山口智美 2年	33m74

総合

男子総合	1位	115.5点
男子トラック	1位	83点
男子フィールド	2位	32.5点

女子総合	4位	31.5点
------	----	-------

山梨インターハイへ向けて



キャプテン
泉澤 賢典
(400mH)

1人でも多く山梨の地に行けるようにチーム一丸となってがんばります。自分としては、早くけがを治し、昨年(鳥取インターハイでの)準決勝落ちの屈辱を晴らすべく51秒台前半を目指し、一番高い所に登りたいです。



副キャプテン
田中 宏樹
(100m、200m、
4×100mR、4×400mR)

昨年のインターハイ優勝で、全国から注目されるのがプレッシャーになっていますが、それをバネにして、先輩方に負けない活躍をしたいです。



副キャプテン
河合 恵太
(5000m、3000m障害)

京都駅伝のためにも、より多くの選手で山梨へ乗り込みたいです。先輩方の活躍を目のあたりにした鳥取インターハイでしたが、山梨では自分達もそれに負けないようにがんばります。